

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第11週（令和7年3月10日～令和7年3月16日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- ・伝染性紅斑の報告数が例年に比べ多い状況です。本疾患はヒトパルボウイルス B19 による感染症です。微熱や風邪の症状等がみられた後、両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」とも呼ばれます。これまで本疾患に感染したことのない女性が妊娠中に感染すると、胎児にも感染し、胎児水腫や流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発疹が出るなど、本疾患を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。感染経路は飛沫感染や接触感染とされていますので、感染予防のため、手洗いや適切なマスク着用等を行いましょう。
- ・福岡県感染症情報ホームページ(https://www.fihe.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などをご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	11	133	206	2,330
腸管出血性大腸菌感染症	1	11	11	246
E型肝炎	1	2	12	77
デング熱	1	3	8	34
レジオネラ症	1	11	31	309
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	20	26	340
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	20	32	355
後天性免疫不全症候群	1	4	5	130
侵襲性肺炎球菌感染症	4	38	67	1,000
梅毒	11	173	153	2,376
百日咳	21	192	482	2,924

■ 定点把握疾患報告数

警報レベル

注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	680	3.45	0.92	20,041	4.07
インフルエンザ	394	2.00	1.02	9,941	2.02
RSウイルス感染症	377	3.17	1.02	4,391	1.41
咽頭結膜熱	71	0.60	1.04	904	0.29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	371	3.12	0.82	7,291	2.33
感染性胃腸炎	1,428	12.00	0.89	35,553	11.38
水痘	26	0.22	0.33	833	0.27
手足口病	15	0.13	1.25	156	0.05
伝染性紅斑	75	0.63	1.63	1,793	0.57
突発性発しん	22	0.18	0.71	628	0.20
ヘルパンギーナ	0	0.00	0.00	38	0.01
流行性耳下腺炎	3	0.03	1.50	120	0.04
急性出血性結膜炎	1	0.04	—	29	0.04
流行性角結膜炎	13	0.50	1.44	576	0.83
細菌性髄膜炎	0	0.00	—	10	0.02
無菌性髄膜炎	1	0.07	—	12	0.02
マイコプラズマ肺炎	1	0.07	0.50	137	0.28
クラミジア肺炎	0	0.00	—	—	—
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	7	0.47	1.75	74	0.15

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。